学校番号	3010

令和5年度 工業（インテリアデザイン） 科

教科	工業	科目	インテリア装備	単位数	1 単位	年次	2 年次
使用教科書	インテリア装備（東京電機大学出版局）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年生のインテリア装備では科目の目標に示す資質・能力を身に付けることができるよう、(1) 建築構造と力学、(2) 建築設備、(3)インテリアの施工、(4) インテリア材料の種類と性質、(5) インテリアの維持保全とリフォーム、(6) インテリア装備に関する法規　の６つの項目についての基礎を学びます。
履修条件
なし

2　学習の到達目標

・建築物やインテリアの立体的な構造、多様なインテリア材料と施工方法などの基礎を理解する。
・住宅などのインテリア装備や各種メディア教材を使用し、室内空間を構成する各部位を理解する。
・関連する技術を身に付け主体的かつ協働的に取り組む姿勢で新しい社会における展望を持つ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	インテリア装備について室内空間を構成する各部位を踏まえて理解する。インテリア装備について関連する技術を身に付けるようにする。	インテリア装備に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	インテリア装備を建築に施工する力の向上をめざして自ら学び、インテリア産業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	建物の構造①	・建築構造の概要 ・構造の種類と構成 ・木構造 ・木構造の部材 ・木構造の屋根	a：建物を構成している構造について関連する技術を身に付けている。建物を構成している構造について種類や構成を理解している。 b：建築構造（木構造の構成）に関する課題を見いだすとともに解決策を考えている。 c：自ら学び、インテリア装備を活用した豊かで快適なインテリアの計画に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価 等
2	建物の構造②	・鉄骨構造 ・鉄筋コンクリート構造 ・その他の構造と工法 ・インテリア関係法規 ・安全な居住環境	a：建物を構成している構造について種類や構成を理解している。インテリア関係法規について理解している。建物を構成している構造について関連する技術を身に付けている。 b：建築構造（鉄骨・鉄筋コンクリート等の構成）に関する課題を見いだすとともに解決策を考えている。 c：自ら学び、インテリア装備を活用した豊かで快適なインテリアの計画に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価 等
3	関係法規	・インテリア関係法規 ・安全な居住環境 ・インテリアの維持保全とリフォーム	a：安全な居住環境について関連する技術を身に付けている。安全な居住環境について理解している。 b：インテリア装備に関する課題を見いだすとともに解決策を考えている。 c：自ら学び、インテリア装備を活用した豊かで快適なインテリアの計画に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価 等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度